



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東大

上場会社名 日本山村硝子株式会社

コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山村 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荒木 陽一

TEL 06-4300-6000

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	37,362	△2.7	1,485	△23.9	1,818	△16.8	1,099	△34.8
23年3月期第2四半期	38,390	△0.7	1,952	△17.7	2,184	△28.4	1,685	△18.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,049百万円 (15.4%) 23年3月期第2四半期 909百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.47	—
23年3月期第2四半期	16.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	94,474		51,573		54.5	
23年3月期	94,722		50,894		53.7	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 51,529百万円 23年3月期 50,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	△2.2	1,500	△43.8	2,000	△34.7	1,200	△36.4	11.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	111,452,494 株	23年3月期	111,452,494 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	6,423,198 株	23年3月期	6,416,028 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	105,034,116 株	23年3月期2Q	105,055,472 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 追加情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から復旧の動きが続いているものの、原発事故に伴う諸問題、欧米の金融不安、アラブ世界の政情不安定など、「世界同時多発危機」と言われる情勢のなかで、依然として先行きに予断を許さない状況にあります。

当社グループは創業100周年となる2014年に向けた4ヵ年中期経営計画の2年目を進行中であり、ビジョン「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」の一層の浸透により、「パッケージング事業の再編と国際化」「ニューガラス事業の多角化」「新規事業とR&Dの推進」「グループコーポレート機能の強化」「人材基盤の確立」の継続と徹底に取り組んでおります。

ガラスびん関連事業では、需要の低迷と販売価格の下落により、セグメント売上高は18,695百万円（前年同期比2.0%減）と減収となりました。固定費の減少があったものの原燃料価格の上昇による費用増加が大きく、セグメント利益は382百万円（前年同期比41.0%減）と減益となりました。

プラスチック容器関連事業では、東日本大震災で宇都宮工場が被災し、ペットボトル・飲料用キャップともに生産が一時停止したこともあって、セグメント売上高は5,986百万円（前年同期比17.6%減）と減収となりました。原料価格の上昇による費用増加に対して固定費の削減や生産効率の向上等に注力したものの、セグメント利益は713百万円（前年同期比5.9%減）と減益となりました。

物流関連事業では、新規開拓および既存顧客の物量増等により、セグメント売上高は5,626百万円（前年同期比5.4%増）と増収となりました。しかし、既存業務の単価引下げや、新規業務に伴う先行支出費用の負担があり、セグメント利益は206百万円（前年同期比44.5%減）と減益となりました。

ニューガラス関連事業では、プラズマテレビ用粉末ガラスの出荷が低調であったものの、前連結会計年度第2四半期に完全子会社化した山村フォトニクス株式会社の売上が寄与し、セグメント売上高は2,627百万円（前年同期比9.7%増）と増収となりました。しかし、固定費削減等に尽力したものの粉末ガラス出荷減の影響が大きく、セグメント利益は115百万円（前年同期比60.2%減）と大幅に減益となりました。

その他事業では、エンジニアリング事業が減収となるなか、商社部門が売上を伸ばし、セグメント売上高は4,426百万円（前年同期比2.4%増）と増収となりました。しかし、エンジニアリング事業の減益幅が大きく、セグメント利益は56百万円（前年同期比6.2%減）と減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は37,362百万円（前年同期比2.7%減）と減収となり、連結営業利益は1,485百万円（前年同期比23.9%減）と減益となりました。

営業外収支の改善があったものの持分法による投資利益が375百万円（前年同期比8.5%減）と減少したため、連結経常利益は1,818百万円（前年同期比16.8%減）と減益となりました。特別損失に東日本大震災関連の災害による損失136百万円等を計上した結果、連結四半期純利益は1,099百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期における通期の業績予想につきましては、当第2四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、平成23年5月11日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成23年11月7日）公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,106	10,359
受取手形及び売掛金	19,189	22,157
商品及び製品	5,763	5,737
仕掛品	380	411
原材料及び貯蔵品	2,026	2,031
その他	1,676	1,091
貸倒引当金	△33	△33
流動資産合計	41,109	41,755
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,206	10,876
機械装置及び運搬具（純額）	8,612	7,870
工具、器具及び備品（純額）	859	776
土地	11,319	11,319
建設仮勘定	241	146
有形固定資産合計	32,239	30,989
無形固定資産		
投資その他の資産	430	405
投資有価証券	2,556	2,597
関係会社株式	14,459	14,814
その他	3,997	3,971
貸倒引当金	△70	△59
投資その他の資産合計	20,943	21,323
固定資産合計	53,613	52,718
資産合計	94,722	94,474

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,209	7,961
短期借入金	5,053	3,965
未払法人税等	182	522
引当金	971	812
その他	4,094	2,834
流動負債合計	17,510	16,096
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	17,380	17,780
退職給付引当金	3,549	3,325
特別修繕引当金	3,915	4,190
その他	471	508
固定負債合計	26,317	26,804
負債合計	43,827	42,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	25,665	26,397
自己株式	△1,218	△1,219
株主資本合計	55,823	56,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28	△8
繰延ヘッジ損益	23	△28
為替換算調整勘定	△4,966	△4,987
その他の包括利益累計額合計	△4,971	△5,024
少数株主持分	43	43
純資産合計	50,894	51,573
負債純資産合計	94,722	94,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	38,390	37,362
売上原価	30,317	30,086
売上総利益	8,072	7,275
販売費及び一般管理費	6,120	5,790
営業利益	1,952	1,485
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	53	57
持分法による投資利益	410	375
その他	119	194
営業外収益合計	587	631
営業外費用		
支払利息	190	172
租税公課	67	64
その他	97	62
営業外費用合計	355	298
経常利益	2,184	1,818
特別利益		
投資有価証券売却益	43	—
負ののれん発生益	331	—
特別利益合計	374	—
特別損失		
災害による損失	—	136
固定資産廃棄損	18	53
支払補償金	—	34
特別損失合計	18	224
税金等調整前四半期純利益	2,541	1,594
法人税、住民税及び事業税	736	543
過年度法人税等	—	△120
法人税等調整額	115	68
法人税等合計	852	491
少数株主損益調整前四半期純利益	1,688	1,102
少数株主利益	2	3
四半期純利益	1,685	1,099

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,688	1,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	19
繰延ヘッジ損益	△5	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	△572	△20
その他の包括利益合計	△778	△53
四半期包括利益	909	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	907	1,046
少数株主に係る四半期包括利益	2	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,541	1,594
減価償却費	2,292	2,289
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,110	△2,907
仕入債務の増減額 (△は減少)	185	665
その他	△17	76
小計	1,890	1,718
利息及び配当金の受取額	56	63
利息の支払額	△188	△174
法人税等の支払額	△1,283	△224
法人税等の還付額	88	525
営業活動によるキャッシュ・フロー	563	1,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,394	△2,475
その他	△1,053	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,448	△2,554
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	17	12
長期借入れによる収入	200	900
長期借入金の返済による支出	△700	△1,600
配当金の支払額	△420	△367
その他	△87	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△990	△1,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,880	△1,746
現金及び現金同等物の期首残高	12,651	12,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,770	10,359

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
〔セグメント情報〕

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,067	7,266	5,338	2,394	34,066	4,323	38,390	—	38,390
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,466	567	6,992	4	9,030	444	9,474	△9,474	—
計	20,534	7,833	12,330	2,398	43,097	4,767	47,865	△9,474	38,390
セグメント利益	647	757	371	290	2,068	59	2,127	△175	1,952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△175百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△233百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,695	5,986	5,626	2,627	32,935	4,426	37,362	—	37,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,586	814	6,075	3	8,480	481	8,961	△8,961	—
計	20,281	6,800	11,702	2,631	41,415	4,907	46,323	△8,961	37,362
セグメント利益	382	713	206	115	1,417	56	1,473	11	1,485

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額11百万円には、セグメント間取引消去53百万円、営業外損益調整等△41百万円が含まれております。営業外損益調整は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。